

令和4年度 長野養護学校グランドデザイン

学校職員の願い

本校の教育方針

『すべての子どもの人権が尊重され、子どもが主体となる教育をすすめる』

長野県特別支援学校重点目標 <目指す学校像>

- 児童生徒の可能性を最大限まで伸ばす学び
- 共生社会の実現に向けた協働の学び
- 「令和3年度重点的に取り組む項目」
- 重点1 すべての幼児児童生徒に対し、一人ひとりのニーズに応じた教育の提供
- 重点2 特別支援学校の専門性の向上
- 重点3 地域や企業の方との協働の学びの充実
- 重点4 地元の同世代の友との交流及び共同学習の充実
- 重点5 小中高等学校の学校解決力の向上を支援
- その他の課題
 - ・防災、安全、危機管理
 - ・教職員の働き方改革
 - ・スポーツ、文化活動の充実

「あなた(わたし)はあなた(わたし)のままがいいんだよ」が伝わる学校に。

- 自己肯定感：皆の中で自分の存在の確認
- 自分を大事にすることは人を大事にすること。
 - 「ああしたい」「こうしたい」を本物に。
 - 『らしさ』の実現＝『生活・授業』づくり

学校教育目標

自分から

自分で

めいっぱい



- 1 すべての職員が子どもの人権を大切にした教育実践を進める学校
- 2 子どもの姿・発達を話題として保護者と対話をし、その思いや願いをしっかりと受け止める学校
- 3 関係機関や地域の方々と連携をして学校作りを推進する学校
- 4 長野地域における特別支援学校としての役割を明確にし、他校と連携し特別支援教育を推進する学校

< 子どもの姿や思いに寄り添う教育 >

I 子どもの人権を大切にした教育の追究

<児童生徒の人権を尊重した教育を追究します>

- 社会参加する上で大切な「本人による本人のための権利擁護の意識」（子どもが主体となる教育）の支援＝「自分から自分で」



II 学校生活づくり・個に応じた授業改善の追究

<各教科等を合わせた指導（遊びの指導、生活単元学習及び作業学習等）を中核とした「生活づくり」を追究します>

<専門性に根差したチームによる支援を行います>

- 個に応じた「個別の指導計画」の作成・活用・修正
- 子どもの願い実現を目指す「遊びの指導・生活単元学習・作業学習」中心の教育課程の追究
- 各教科等との関連を示した年間の授業計画（シラバス）の作成と運用（目標設定、評価）
- 生活の質を高め自立する力を育てる寄宿舎の生活づくりの追究
- 専門性サポートチームを中核とした、専門性に根差した児童生徒支援の追究
- 特別支援教育専門職として資質・能力の向上のため学び続ける教師のあり方の追究
- 子ども達の最大限の可能性＝「めいっぱい」
- ICT機器を活用した「個別最適化」した学びの推進



III 児童生徒に優しい、安心安全の学校生活づくりの追究

<子どもにとってやさしい、安心安全な環境整備>

- 安全で安心な学習環境の整備
- 「やさしく、利用しやすい」生活環境の整備
- その子どもにとって見通しがもちやすくなる支援（手だて・手順等の追究）
- 安全防災教育の推進、地域と共同した安全体制

IV 校外との連携が充実し、特別支援教育のセンター的機能発揮の追究

<校外連携を充実させ、特別支援教育のセンター的機能が発揮できるように充実を目指します>

- 長野養護学校関係者会議の連携の充実と校内支援会議の充実（各部コーディネーター機能）
- 地域の教育相談機能の充実（相談センターの活用と自立活動担当教員による巡回相談支援）
- 個別の教育支援計画(連携ツール)、キャリアパスポートの活用の工夫

